

6・6 海上人命安全条約等の改正

平成 23(2011)年 5 月に開催された IMO 第 89 回海上安全委員会(MSC89)において、海上人命安全条約(SOLAS 条約)等の改正が以下のとおり採択された。

6・6・1 MSC89 における SOLAS 条約等の改正

IMO では、従前より、操練時における救命艇の予期せぬ落下による人身事故防止策について検討してきた。その結果、救命艇の負荷離脱フックの要件を強化する国際救命設備コード(LSA コード)の改正案、および当該 LSA コード改正案に適合していない現存救命艇の負荷離脱フックを新要件に適合した負荷離脱フックに交換することを義務付ける SOLAS 条約附属書第 III 章改正案に合意している。

MSC89 では、当該 LSA コードの改正案、および SOLAS 条約第 III 章改正案の採択のための審議が行われた。

審議の結果、救命艇に関する次の義務要件が採択されるとともに、現存救命艇の負荷離脱フックの評価および交換のためのガイドラインが承認された(「6・3・1 船舶の救命設備等の見直し」参照)。